

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 5 月 12 日現在

機関番号：17201

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K00997

研究課題名（和文）旧藩貸付金からみる幕末期の藩と地域経済の循環構造

研究課題名（英文）Cyclical Structure of Domains and Regional Economy in the Late Edo Period as Seen from the Loans of the Former Domains

研究代表者

伊藤 昭弘 (Ito, Akihiro)

佐賀大学・地域学歴史文化研究センター・教授

研究者番号：20423494

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,600,000円

研究成果の概要（和文）：江戸時代における諸藩の資産運用状況や、旧藩の資産が明治時代の地域経済に与えた影響を明らかにするため、旧藩貸付金の実態解明をすすめた。全国の都道府県に明治初期の旧藩貸付金史料が残っていないか情報収集したのち、現地調査を行った。残念ながら関係史料が残っている都道府県は少なく、江戸時代の状況を復元できる史料は僅かだった。

しかし長崎県・山口県・群馬県・福島県において、明治4年から5年にかけての史料を確認できた。長崎県・山口県については、佐賀藩・長州藩が積極的な資産運用を行っていたことがわかった。一方群馬県・福島県の諸藩は零細農村の救助目的が多かった。このように、地域や藩の規模での違いが確認できた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまでほとんど解明されていなかった旧藩貸付金の実態（諸藩における貸付の状況、それを引き継いだ府県による回収の実態など）を解明できる史料を多数収集できた。なかでも明治4～5年の状況がわかる史料（江戸時代の状況が復元可能）を長崎県・山口県・群馬県・福島県で確認できたため、今後これらの県の史料分析を中心に研究をすすめ、旧藩貸付金の全容解明につなげる。

研究成果の概要（英文）：In order to clarify the asset management situation of various domains in the Edo period and the impact of the assets of the former domains on the regional economy in the Meiji period, we proceeded to clarify the actual situation of the loans of the former domains. After gathering information to see if there were historical materials on loans from the former domains in the early Meiji period in all prefectures, a field survey was conducted. Unfortunately, there are few prefectures where related historical materials remain, and there are only a few historical materials that can restore the situation in the Edo period. However, in Nagasaki, Yamaguchi, Gunma, and Fukushima prefectures, we were able to confirm historical materials from the 4th to 5th years of the Meiji era. Regarding Nagasaki and Yamaguchi, it was found that the Saga Domain and the Choshu Domain actively managed their assets. On the other hand, many domains in Gunma and Fukushima aimed to rescue small farming villages.

研究分野：日本近世史

キーワード：旧藩貸付金

## 1. 研究開始当初の背景

これまで旧藩貸付金を扱った研究としては、千田稔の論文(「新旧公債の元利支払財源 旧藩貸付金徴収を中心に」『社会経済史学』46(6)、1981)があるのみである。ただ千田論文も重点は新旧公債(藩から明治政府に引き継がれた借金)の返済に置かれており、旧藩貸付金の実態解明を目指すものではなかった。明治政府は旧藩貸付金の合計額を約1,900万円と把握しており、当時の政府財政や経済状況を考えるうえで、無視できる規模ではない。

研究代表者は2012年度から3年間、基盤研究(C)「近世後期における藩財政像の再構築 - 藩有資産の構造と運用の研究 -」をすすめ、その成果として著書(伊藤昭弘『藩財政再考 - 藩財政・領外銀主・地域経済』清文堂、2014)を刊行した。そのなかで松代藩、松江藩、長州藩、佐賀藩を取り上げ、各藩とも(莫大な借金的一方で)相当な額の資産を蓄積し、それを運用(貸付)していたことを明らかにした。

また当該研究において、全国の府県から大蔵省(負債掛、国債寮)に提出された旧藩貸付金にかんする上申をまとめた資料を翻刻した(国立公文書館所蔵)。この資料には1,019点の上申が収録されており、各府県における旧藩貸付金の実態解明の手がかりをえた。

## 2. 研究の目的

前述のとおり旧藩貸付金の実態にかんする研究は皆無といえる状況である。本研究では、島根県(松江藩)、山口県(長州藩)、香川県(丸亀藩)の各県における旧藩貸付金の把握状況を上申資料から読み取り、さらに各県の旧藩貸付金関係資料を詳しく分析することで、明治期における各県の旧藩貸付金取扱実態を解明する。

申請者は、とりわけ旧藩領地域においては明治期の経済発展に旧大名家(華族)や旧藩の資金が重要な役割を果たしたと想定している。については千田稔の詳細な研究があり(「華族資本の成立・展開: 一般的考察」『社会経済史学』52(1)、1986など)、近年も華族と地域社会の関係を考える研究成果が出されている(内山一幸『明治期の旧藩主家と社会 - 華士族と地方の近代化』吉川弘文館、2015など)。しかし国庫に収納される予定だったについては、その回収状況など明らかにされていない。そのため本研究では、上記各県における旧藩貸付金の回収状況や、借りた側の人びとの明治期における経済活動・地域における社会的・経済的位置の解明をとおり、近世近代移行期における地域経済のあり方を論じる手がかりとしたい。

## 3. 研究の方法

これまで藩財政研究をすすめてきた松江藩・長州藩・佐賀藩・松代藩にかかる旧藩貸付金史料を中心に、全国都道府県の公文書所蔵機関の情報を収集し、明治初期における旧藩貸付金関係史料が伝存しているか調査した。関係史料の存在が見込まれる機関については調査のうえ資料を撮影・複写した。収集した史料をもとに、江戸時代諸藩の資産運用実態の復元を試みた。

本研究では、秋田県・福島県・群馬県・滋賀県・愛媛県・山口県・長崎県・熊本県における関係史料を調査した。うち熊本県以外では関係史料が確認できたため、撮影・複写した。

## 4. 研究成果

研究期間をとおり、全国各地の公文書所蔵機関の情報収集をおこない、旧藩貸付金関係史料があると思われたところはすべて調査した。その結果、藩政時代の状況がわかる明治4~5年に作成された史料(旧藩貸付金の貸付先一覧など)は、長崎県・山口県・群馬県・福島県で確認できた。残念ながら数は少ないが、長崎県・山口県はそれぞれ旧佐賀藩・長州藩の状況がわかり、両藩とも莫大な貸付金を有していたことが判明した。特に長州藩については実態が詳細に把握可能であり、これまで私がすすめてきた同藩の藩財政研究を踏まえ、新たな成果が期待できる。佐賀藩についても、これまで不明だった幕末期の資産運用実態につか付くことができる。

一方群馬県(沼田藩)・福島県(県域に所在した小藩)は、佐賀藩・長州藩とは全く好対照で、運用益獲得を目的とした貸付はほとんどみられず、零細農村の救助目的がほとんどと思われる。大藩と小藩、西日本と東日本といったかたちでの比較検討が可能である。参考までに、現段階で確認できた旧藩貸付金の実態についてまとめた表を掲げておく。

府 県 +A1:D27	旧藩	年月	貸付金額(円)
福島県	岩城平藩	明治6年初	1,464
	湯長谷藩	明治6年初	981
	三春藩	明治6年初	1,663
	棚倉藩	明治6年初	11,263
群馬県	沼田藩	明治6年初	11,158
山口県	山口藩	明治6年初	411,079
	豊浦藩	明治7年3月	6,355
	清末藩	明治7年3月	5,864
	その他(県外)	明治7年3月	10,708
長崎県	佐賀藩	明治6年末	120,154
	小城藩	明治6年末	18,346
	鹿島藩	明治6年末	2,612
	唐津藩	明治6年末	2,642
	厳原藩	明治6年末	2,995
	島原藩	明治6年末	40,191
	平戸藩	明治6年末	26,572
	その他(県外)	明治6年末	89,092
滋賀県	朝日山藩	明治7年10月	1,625
	膳所藩	明治7年10月	40,112
	西大路藩	明治7年10月	233
	彦根藩	明治7年10月	68,443
	水口藩	明治7年10月	8,439
	宮川藩	明治7年10月	148
	山上藩	明治7年10月	370
	その他(県外)	明治7年10月	31,405
愛知県	全県	明治10年7月	106,418

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 伊藤昭弘
2. 発表標題 旧藩貸付金にかんする一考察
3. 学会等名 近世史フォーラム例会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 岩城 卓二、上島 享、河西 秀哉、塩出 浩之、谷川 穰、告井 幸男	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 388
3. 書名 論点・日本史学	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------